

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">文章表現</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部英米1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生 教育教福1回生 人間人社1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">岡崎 昌宏</p>
<p>授業テーマ</p> <p>頭にあることを的確に表現する</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>インターネットやメールなど、日常生活のなかで文章を書く機会は近年増えています。しかし自分の思ったこと・考えたことを的確に表現し、どんな相手にも理解してもらえるように伝える文章技術を身につけるのは、なかなか容易なことではありません。本講義では、自分の頭にあること・書きたいことを過不足なく文章にするための基礎的な能力を身につけ、メールだけでなく手紙、レポート、論文など、様々な場面で活用することのできる技術を習得することを目指します。</p>		
<p>評価方法</p> <p>講義への出席状況、課題作文の提出状況、提出された課題作文の内容等により総合的に評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p>講義中に配布するプリントを用います。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて講義中に随時紹介します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1回の講義は、基本的には以下の順にすすめていきます。(1)まず、前回の講義中に作成した受講者の文章のうち、優れたものや興味深いものをいくつか紹介し、的確な表現をするために必要なことを確認していきます。(2)次に、読み手に間違いなく伝わる文章を書くために必要な技術(文の役割・語彙・文法・文の構成など)を、例文や例題を挙げながら解説し、確認します。(3)最後に、当日のテーマに沿った課題に基づき、受講者は限られた時間と字数で文章を書き、提出します。毎回、実際に書く経験を積み重ねることによって、文章の技術を磨きます。</p> <p>各回のテーマは、日本語文章能力検定(文検)に沿った以下のような内容を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 概説—的確な表現とは 2. 書きたい出来事・事実を選択し、表現する。 3. 出来事・事実を報告する。 4. 出来事・事実に対する気持ち・考えを直接的に表現する。 5. 出来事・事実と、自分の直接的表現とははっきり区別した上で、自分の考えを報告する。 6. 自分の考えの正しさを論証する。 7. 問題提起をし、その解答を書く。 8. 自分の考えと異なる意見を想定し、それに反論する。 9. 文章構成(どんな順序で書くと良いか)を考える。 10. 5W1Hを落とさずに書く。 11. 文を短く切る。 12. 推敲・仕上げを十分に行う。 13. 敬語を正しく使い、お礼の手紙を書く。 14. 案内の手紙を書く。 15. 意見文の総復習と、まとめ。 		